

# 29年度決算 一般会計・特別会計合計で 267億5,287万円を支出

税金がどのように使われたか—平成29年度の決算は、9月14・18・19・20・21・26・28日の7日間、決算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と6特別会計、2企業会計を原案のとおり認定すべきものと決定。第3回定例会最終日の10月2日本会議で全ての決算が認定されました。

平成29年度各会計の決算額				
会計名	歳入(収入)	歳出(支出)		
一般会計	219億3,323万5,419円	212億7,087万5,793円		
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	39億7,299万9,703円		
	後期高齢者医療	2億7,021万3,586円		
	国民健康保険(診療施設勘定)	2億4,692万4,255円		
	公共下水道事業	5億1,472万3,489円		
	農業集落排水事業	6億2,237万8,263円		
浄化槽事業	6,472万6,562円	5,913万2,917円		
企業会計	西根病院事業	収益的	8億4,451万1,436円	8億1,372万6,769円
		資本的	1億1,815万4,000円	1億2,821万7,507円
	水道事業	収益的	5億7,496万9,456円	5億2,687万7,560円
		資本的	2億1,566万4,000円	3億6,441万4,590円

## 決算特別委員会の主な質疑と意見

**Q** 平館高校の生徒の朝通学のために、田山支所から車両を運行しているとあるが、その生徒は何人か。  
**A** 2番列車の始発が荒屋新町駅であり、田山区から平館高校に通学している生徒は、平成29年度で2名である。  
**Q** (委員会の意見) 他生徒も通学に困っていないか調査し環境を整えるべきである。公用車両をハイブリットや、電気自動車に変えていくべきと思うが、どうか。  
**A** 市内にEVスタンドが少ないことや冬道の安全を考慮し、慎重に進めていきたい。(委員会の意見) 公の立場を考えると、公用車の切り替えを進めていくべきである。また、庁舎前にもEVの充電施設を作るべきである。



「道の駅にしね」のEV充電施設

**Q** 西根老人憩の家は同様の施設である、なかやま温泉館、綿帽子温泉館に比べ、利用者数からみて指定管理料が多額である。どう考えているか。  
**A** 人件費が8割以上を占めている。修繕費、燃料費、消耗品が多い。集客のための行事や、健康教室を開催するなど、努力をしてもらっているが、固定客のほかに一般客を増やすよう、市としても一緒に考えていきたい。  
**Q** (委員会の意見) SNSなどを利用し、秘境の温泉の効能や、魅力などを広く発信するなど、地域外の誘客に一層努めるべきである。さらに、効率的な施設の管理運営に努力してほしい。



平成30年4月から「七時雨憩の湯」に改称

**Q** 五日市コミセンは川より低い所にあり、避難所には適さない。移転の話もあるが、現状はどうなっているのか。  
**A** 五日市コミセンについては、洪水の際の避難所としては指定していない。状況により、可否を判断する「△」マークを付けている。  
**Q** そのことが市民に周知されているかが問題である。どの程度、周知されているか。防災無線、エリアメールなどにより周知する。また、防災マップの見方と合わせて機会あるごとに、市民に説明していく。  
**A** (委員会の意見) 「△」マークで「状況により」などと、市民が判断に迷い危険である。周知の徹底はもちろんのこと、他の地区にも同様の状況があるかを合わせて調査し、防災マップなどの見直しを検討するべきである。



里城河川公園からの五日市コミセン

**Q** 危険な空家が、大きな社会問題になっている。市では、現状を把握しているか。安全対策を講じているか。  
**A** あくまで個人の所有物であるので、個人の自己責任として管理すべきであるが、周りに危険が及ぶような物件は、緊急的に市が対応しなければならない。予算は50万円計上している。  
**Q** (委員会の意見) 現に危険物件として把握している建物については、早急に安全対策を講じるべきである。  
**A** 体育施設へのネーミングライツに取り組むとのことだが、どのように協議しているか。  
**A** これから検討したい。

※ネーミングライツ=スポーツ施設などにスポンサーとなる企業名やブランド名などを付ける権利。



市内国道沿いの空家

↓ (委員会の意見) 公共施設の維持管理の財源として、検討すべきである。

**Q** 市の斎場に隣接する旧西根地区衛生事務組合のごみ焼却場の解体を、計画しているか。

**A** 財政サイドと協議し、来年度アスベスト、PCB（化学物質）の調査をし、平成33年度ごろ解体工事に入っていければと考えている。

**Q** **（委員会の意見）** 焼却施設の解体は、関係法規などの規制が年々厳しさを増し、経費も増加するので、早期に取り組みべきである。

**A** 特定不妊治療等支援事業助成について、助成額の増額と周知徹底が必要と考える。自治体によって助成額は格差があるが、少子化対策のためにも、助成額の増額を検討したい。市の広報などで、周知する**（委員会の意見）** 助成額拡大の検討と、内容を周知徹底していくべきである。



早期解体が望まれる旧ごみ焼却場

**Q** 林道の刈り払い状況は。また、林道維持管理32路線に対し、修復路線実績が2件であるが、少なくないか。

**A** 市道を優先しているため、林道が遅れてしまう。今後は、早期着手に努めていきたい。破損は、2路線のみである。

**Q** **（委員会の意見）** 早期着手できるよう、地元農家への作業委託など検討すること。農家などへの外国人労働者受け入れの状況は。また、ロボットを活用したスマート農業の導入の考えは。

**A** 現時点では外国人受け入れ相談はないが、JAなどを通じて検討していきたい。スマート農業は、熱水ハウスを利用したバジル栽培などを検討していきたい。**（委員会の意見）** 農家の担い手不足は深刻であるため、早急に対処するべきである。



熱水ハウスを利用したバジル栽培



着々と進む新市立病院建設

**Q** 平館高等学校の教育振興事業で、海外派遣が3名である。市が交流しているタイ国のタマサート大学や、観光のターゲットにしている台湾に派遣しては、どうか。市と交流のある国への派遣を、取り入れてもらうよう、学校に話していきたい。

**A** **（委員会の意見）** 市で交流実績のある国への派遣と研修成果を生かすべきである。西根病院の患者数の減少要因と、増員のための方策を、どう考えているか。

**Q** 常勤医師の減員により、固定患者が減少した。緩和ケア病床の開設、当市以北の人たちの利用拡大やカテーテル治療整備、耳鼻科や整形外科の専門外来の開設を検討している。

**A** **（委員会の意見）** 病院事業管理者を先頭に新病院完成後、耳鼻咽喉科設置など市民要望に応えるよう、努力をしてほしい。



生産農家が減少しているほうれんそう栽培

**Q** ほうれんそう農家が減っているが、対応策は。また、販売力強化への取り組みは。若手生産者を中心に、勉強会などを開催し、推進していきたい。農家を集約し、団地化を図り、規模の拡大や、効率的な機械化栽培を推進していきたい。

**A** **（委員会の意見）** 生産農家の現状を把握し、年5回収穫できるよう、強化を図ること。また、野菜出荷場まで持つて行かない生産者の対応策を検討すること。融雪剤において、塩害の少ない製品を、今後、使用する考えは。

**Q** 塩害の少ない製品の仕様や、価格を調査し、試験的に使用していきたい。**（委員会の意見）** 車、道路、周辺環境などを塩害から少しでも守り、有効性が示されれば広域的に発信できると考えるため、ぜひ進めること。

**Q** 経営改善指導機関の農業支援センターをもっと強化できないか。また、今年からの青色申告に向け、指導強化の対策は。

**A** 農林課体制を再編成し、農業再生協議会や認定農業者協議会を支援している。さらに、農家の皆さんと勉強会をしていく**（委員会の意見）** 国の施策である収入保険制度（青色申告）に向け、農閑期の早い時期に勉強会を開催すること。農業団体などへの農業機械等整備事業の支援状況や、周知状況は。

**Q** 4事業で100件以上の支援実績があり、国や県の有利な制度を優先的に推進し、支援拡大に努めている。周知は、年度初めに説明会を開催している。**（委員会の意見）** 「農の大地担い手育成支援事業」は3年間の予定であるが、支援要望が多いことから、事業継続すること。



事業継続で支援を望む農業用トラクター

### 討論（一般会計・10月2日本会議）

#### 【反対討論】 米田定男議員（日本共産党）

決算委員会総括質疑の教育長答弁は、完全給食の意義そのものを否定する内容であった。これまでさまざまな理由で、完全給食が実施されなかったが、それよりも大きく後退したものと云わざるを得ない。子どもの確かな成長を保障する課題は、単に政治の一分野に過ぎないのではなく、常に政治の最も重要な課題の一つである。この完全給食否定論は、子どもの成長を保障する立場とは関わりなく、完全給食否定ありきから出発した粗雑な言い訳のレベルに過ぎない。

#### 【賛成討論】 立花安文議員（八起会）

歳入は、自主財源比率が30・1%で、特に市税の収納率が向上しており、日頃の職員の努力を評価する。ふるさと応援寄付金は、約1億5千万円に達し、これによって経済的弱者に、仕事を作った功績を評価する。歳出は、田山地区のコミュニティバス運行事業で、運行をデマンド方式に変更したが、この方式になじめない方も多く、見直しを求める要望に対して、午前は定時定路線運行に戻し、午後はデマンド方式という折衷方法により改善を図り、地域住民の要望に応えたことを評価する。

### 質問した事項

- 1 田村 孝 議員…… P 8
  - ・赤川の河川災害について
  - ・市有財産について
  - ・企業誘致かねさ株式会社について
- 2 田村 善男 議員…… P 9
  - ・農業振興について
  - ・教育振興について
- 3 工藤 隆一 議員…… P 10
  - ・観光について
  - ・教育について
  - ・婚活支援について
- 4 高橋 悦郎 議員…… P 10
  - ・国民健康保険税について
  - ・介護保険制度について
  - ・幼保無償化について
- 5 勝又 安正 議員…… P 11
  - ・八幡平市の Lindo 振興について
  - ・農用地などの保全対策について
  - ・荒屋新町地区の夜間の安全確保について
- 6 熊澤 博 議員…… P 12
  - ・野菜生産の振興について
  - ・婚活支援事業について
  - ・子育て支援について
- 7 米田 定男 議員…… P 12
  - ・市商工会の「平成 29 年度大更駅前商店街再編調査事業報告書」について
- 8 渡辺 義光 議員…… P 13
  - ・大更駅周辺のにぎわい創出について
  - ・語り継ぎたいふるさとの俚語（りげん）方言について



たむら たかし 田村 孝 議員 (八起会)

## 河川災害に対する対策 定期的に河川巡視を行う



樺沢入り口大橋下流の一部分

問 赤川の大橋から山崎の赤川橋までは、堆積物が多く、水位が上がっている。さらに堆積物近くの柳の木が太さ30センチ以上成長しているため、漂流物がせき止められ、危険である。災害が発生する前に事前の対策、計画があるのか伺う。

市長 赤川は岩手県管理河川となっており、河川改修事業については、洪水による浸水被害箇所を優先し、整備を進めている。また、日常のパトロールや、市民からの要望については、その都度、岩手土木センターへ照会している。今後も、

県と連携を図り、災害の未然防止に努めていきたい。

### 市有財産の売却

問 東住宅跡地は、今後どのような利用計画があるのか。また、定住人口確保のため分譲売却はできないか。

市長 現時点で利用計画を策定していないが、当該跡地は西根バイパスや旧国道に近く、面積が約2千平方メートルある。払い下げ希望がある場合には随時対応したい。

### 企業誘致かねさ株式会社 状況

問 平成11年にかねさ株式

会社と工場建設に向け、結んだ土地契約は今年で19年目になるが、今どのようになっているか伺う。  
市長 かねさ株式会社は、自社工場の建設は見通しが立たない。今後は、他企業への紹介を進め、有効活用に向けていきたい。



たむら よしお 田村善男 議員 (八起会)

## 進まない農地の集積集約 集落全体の話し合い促す



増え続ける耕作放棄地

問 高齢化と担い手不足で農地維持が困難となり、耕作放棄地が増えることが懸念される。効率的な農業経営を進めるには、農地集積を図ることが重要と思うが、市長 集落全体で話し合いを進めることが急務である。

地域の話し合いには、農業委員、農地利用最適化推進委員、出し手受け手の農家の積極的な出席を促していき、推進していきたい。  
問 担い手確保のための、集落営農組織の法人化への支援策は、市長 市単独事業の八幡平

市集落営農組織支援事業補助金交付要綱を改正し、法人化した組織に対し、設立から5年間補助金を交付し、育成支援を行っている。

### 農福連携の可能性

問 農福連携で、農業分野の労働力不足の解消と、障

がい者の就労機会の拡大へつながる可能性は、市長 福祉分野と農業分野の両方に効果が見込まれるもので、取り組みの可能性は全国的に期待されている。

### 小中一貫校へ検討

問 児童生徒が減少する中、

学校や地域の活力を維持する観点から、子どもにとって必要な学校の在り方を考え、小中一貫校への移行は、教育長 八幡平市の適正配置計画の見直し、小中一貫教育の目的や必要性など、保護者や地域住民と話し合い、理解を得る必要がある。



くどうりゅういち  
**工藤隆一** 議員  
(八起会)

**問** 暑熱環境の中、快適環境で教育が受けられるようエアコン設備が必要である。  
**教育長** 夏場の気温上昇、記録的な猛暑で、勉強できる快適な環境とは言い難い状況である。エアコンの必要性を今後の課題と捉え、実現に向け検討していく。

**問** 全国学力・学習状況調査の結果における現状と、学力向上に向けた対策と取り組みについての考えは。  
**教育長** 各学校における課題を、授業や指導法の改善につなげ、各小・中学校が学習指導の充実を目指し、学校全体で組織的に授業力

向上に取り組みながら授業改善を実現させることで、学力向上につなげる。  
**観光情報発信強化**  
**問** インバウンド拡大による地域活性化が期待される中で、市内での外国人観光客の受け入れ対策は。

**市長** 国際交流員や、八幡平DMO、市観光協会と連携し、海外向けの情報発信や、受け入れ側として、電子マネーやカード決済など必要となる設備支援も検討し、対策を講じていく。  
**秋の観光の目玉**

**問** 八幡平ヒルクライム大会は、秋の新たな観光の目玉となる大会である。将来の大会規模の考えは。  
**市長** 今年は201名出場し、東京都、神奈川県からも参加があった。今大会状況から、規模的に500人程度可能と見込んでいる。



日差しの強い西根中学校

## 快適環境エアコン設備

### 小・中学校への設置検討



たかはしえつろう  
**高橋悦郎** 議員  
(日本共産党)

**問** 今年度から、国保会計を県が運営する広域化が始まった。広域化では、低所得者が多く、保険税負担が他の保険に比べ、非常に高額という構造的な課題は解決しない。見解を伺う。  
**市民課長** 中小企業が加入する協会健保と保険料負担

を比べると、国保の所得割負担は約2倍になっている。この所得割の軽減が、大きな課題と考える。  
**問** 当市の国保基金と、剰余金合わせて3億円を超えている。この財源で、国保税の引き下げを行うべきだ。  
**市民課長** 国保広域化の初

年度では、判断できない。3年後をめどに、引き下げが可能か判断する。  
**問** 子育て支援策として、第2子からの18歳未満の国保税均等割、2万7千円を免除する考えは。  
**市民課長** 国保広域化の観点から難しい課題だ。

**問** 消費税増税は反対であるが、国はその財源で幼児無償化を実施するようだ。当市は、保育料を国基準より約6割軽減する子育て支援を行っているが、国の幼児無償化により、市の負担軽減額はいくらになるのか。  
**地域福祉課長** 制度内容は

示されていないが、軽減額は単純計算で年間3240万円と試算している。  
**問** この負担軽減で新たな子育て支援を実施するべき。  
**地域福祉課長** 軽減額がはつきりした後、いろいろな子育て支援について、予算要求していきたい。



岩手県国保会館

## 国保税の引き下げ

### 3年後に判断する



かつまたやすまさ  
**勝又安正** 議員  
(八起会)

**問** 安代リンドウの海外輸出の宣伝効果は大きいことから、今後の取り組みと、海外展開について伺う。  
**市長** 海外展開については、輸出用鮮度保持技術の確立と、鉢物のブランド化を進め、許諾料の収入などが上がるよう、取り組みを強化

していく。  
**問** 今後の、オリジナル品種の取り組みについて伺う。  
**市長** ウイルス病や株持ちが悪い品種の改良、需要期以外の品種開発に努める。  
**問** リンドウ新規就農者を、計画的に支援していく考えはないか伺う。

## 八幡平市のリンドウ支援

### 生産者要望の花き振興

**市長** リンドウ栽培初年度の資材購入経費は単年度助成である。規模拡大に当たり、どのような支援が有効であるか生産者や関係団体の意見を取り入れ検討する。  
**農業用水施設の保全管理**

**問** 自然災害被害の水田と、農業用施設の保全管理を、さらに進めていく考えはないか伺う。  
**市長** 多面的機能支払交付金制度の活動推進、農業用施設などの機能が十分発揮できるよう、各土地改良区と連携していく。



天皇杯受賞記念碑と吉池氏顕彰碑

### 荒屋新町地区の夜間の安全確保

**問** 駅付近街灯のLED化推進増設計画について伺う。  
**市長** すでに取り組んでいるが、順次LEDへの推進を行い、交通安全や防犯対策に努めていく。



くまざわ ひろし 議員 (自由クラブ)

問 野菜全般の生産量と、売り上げの推移、現状を伺う。

市長 生産量は、平成25年の3153トンが平成29年には3223トンとなり、売り上げは、平成25年の約9億8千万円が平成29年には約9億円となっている。

野菜生産を支える担い手確保の対策

問 農業後継者、新規就農者、農家パート、外国人研修生などの、担い手確保の対策について伺う。

市長 農業後継者対策は、国の農業次世代人材育成投

野菜の新たな品種の選定

熱水も活用した生産振興

資事業により、最大5年間の助成を行っている。しかし、親元就農は該当とはならず、親と別品目に取り組む場合などが事業対象となる。新規就農者対策は、市単独で八幡平市新規就農者等支援事業を制定し、助成している。農家、農業用施

設でのパートは38人が雇用されているが、外国人の実績はない。今後は、受け入れるための冬場の野菜生産、熱水ハウス栽培に取り組みたい。

温暖化の影響と振興計画の見直し

問 地球温暖化の影響に伴う、野菜振興計画の見直しについて伺う。



熱水ハウス栽培

市長 集中豪雨や気温の上昇などにより、作物が収穫できず市場価格の高騰も見受けられる。気候条件に対応した新品種も選定し、農業振興を図っていきたい。



まいたさだお 議員 (日本共産党)

問 市商工会策定の駅前商店街再編事業報告書では、顔づくり施設の主要な内容として、図書館が示されている。そもそも顔づくり施設は、どのような目的の施設なのか。

市長 駅前線と、駅西口広場とともに、にぎわいと、交流機会の拠点である。

顔づくり施設内容に問題

図書館含めさらに検討

問 なぜ、図書館が顔づくり施設なのか、納得しがたい。図書館に限らず、公共施設の整備については、まず、市がその施設の整備の必要性の有無について、施設の目的に沿って判断するのが当然の流れである。教育委員会は、検討したのか。教育総務課長 図書館の改築、移転などについて、正式な検討はしていない。図書館協議会に対して、整備にかかわる諮問はしていない。

問 市の担当部署で検討されてもいないのに、整備計画が出てくること自体が異常である。

副市長 商工会の一つの提言としての位置付けで、この報告書は出ている。



開発が進む大更駅前



わたなべよしみつ 議員 (市民クラブ)

問 八幡平市始まって以来の大型事業で、最大の予算を投入する大更駅周辺の街づくり事業に「大更地区議員と語る会」で、市民から多数の提言や要望が寄せられた。東口からの改札、自由通路の効用、市立図書館構想について、考えを伺う。

市長 駅周辺の整備については、皆さんの要望や提言に配慮し、快適環境に努めている。建設中の市立病院などの進捗に合わせ、自由通路東に改札口の設置をJRに要望する。図書館については、外部有識者を交えた組織設置を検討する。

大更駅周辺の利便性向上 市民の要望や提言に配慮

駅利用者500人

問 平成29年度の大更駅利用者数を250人としているが、実数は500人ほどである。数年間、降車人員が含まれていない。訂正すべきである。

建設課長 事務の手違いで、利用者に乗車人員250人だけ計上してきた。ご指摘の降車人員は含まれていないので、正しい数値を訂正し報告する。

人生訓とことわざ

問 世代を超えて、地域や家庭に語り継がれてきた俚語文化を学習していきたい。



大更コミセン主催の議員と語る会